

2021 年度

枚方市立第四中学校
2 年3学期シラバス集

進路指導部

1. はじめに

平成27年度から、目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。それに伴い、枚方市及び本校も評価基準が変更になりました。また、評価の規準についてもより明確になりました。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭科・外国語の9教科)について、観点(国語は5観点、その他は4観点)があります。

各教科のそれぞれの観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価(表1)から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の評定(表2)をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、枚方市内統一の評価基準となります。

表1

観点別評価		目標到達度
A	十分満足できる	75%以上
B	おおむね満足できる	40%以上
C	努力を要する	40%未満

表2

総合評定		目標到達度
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	90%以上
4	十分満足できる	75%以上
3	おおむね満足できる	40%以上
2	努力を要する	20%以上
1	一層努力を要する	20%未満

評価の例(観点4つの場合)

	観点1	観点2	観点3	観点4	評定
○○くん	A	A	A	A	5
●●くん	A	A	A	A	4
△△さん	A	A	A	B	5
▲▲さん	A	A	A	B	3

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

入試	対象学年	比率
平成30年度入試以降 (現1~3年生)	第1学年~第3学年	(第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3)

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切に、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進捗等により、多少変更する場合があります。

国語【2年3学期】

教材の種類・単元名	到達目標
評論:「動物園でできること」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注目して、筆者の主張を捉える。 ・動物園に関係する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。
論説文 構成を工夫して考えを伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫して書く。 ・根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書く。
小説:走れメロス	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。 ・工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。
創作文	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書く。 ・作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。
情報誌 地域の魅力を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合って考えをまとめる。 ・地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章にまとめる。
書写:硬筆・毛筆	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や必要に応じて、楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解することができる。

観点別学習状況の評価対象と内容		
知識・技能	30%	定期テスト・小テスト・書写等
思考・判断・表現	40%	定期テスト・小テスト・発表・作文・作品等
主体的に学習に取り組む態度	30%	提出物・ノート・授業態度等

社会【2年3学期】

分野	単元	到達目標
歴史	欧米の進出と日本の開国	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国が発展した理由について、アジア進出、近代革命、産業革命、アジア諸国の動きなどを通して多面的・多角的に考察して説明できる。 ・開国から江戸幕府滅亡までの過程とその影響を、欧米諸国の動きと関連させて説明できる。
	第2節 明治維新	<ul style="list-style-type: none"> ・新政府が行った、廃藩置県、学制、兵制、税制の改革、身分制度の廃止、領土の確定などの政策から、近代国家を目指していたことを理解する。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正などをもとに、立憲制の国会が成立して議会政治が始まるなかで、日本の国際的な地位が向上したことを理解する。また、近代国家を目指した政府や人々の努力を理解する。
	第3節 日清・日露戦争と近代産業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本での近代産業が発展したことを、日清・日露戦争、大陸との関係や国内外の反応、韓国の植民地化などから理解する。また、欧米諸国との対等な外交関係を築いていく過程を理解する。憲法や議会政治の成立が、現代とのつながりがあることも理解する。 ・我が国の産業革命や国民生活の変化、欧米文化を受容するなかで発展した学問や科学など、多方面で近代文化が形成されたことを理解する。
地理	身近な地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に対して主体的に調べて考察し、まとめた内容を他者に対して説明できる。 ・調査した結果をレポートやイラストマップ、新聞形式、パソコン(タブレット)を使って発表形式にまとめるなどの表現ができる。

観点別学習状況の評価対象と内容		
①知識・技能	30%	定期テスト・提出物・小テスト
②思考・判断・表現	30%	定期テスト・提出物
③主体的に学習に取り組む態度	40%	定期テスト・提出物・授業に取り組む姿勢

数学【2年 3 学期】

単元	到達目標
図形の性質と証明	<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形の合同条件について理解することができる。 ・証明の必要性と意味及びその方法について理解することができる。 ・三角形の合同条件などをもとにして、三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見出したりできる。 ・平行線の性質を利用して、面積の等しい図形を見出すことができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。
場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解することができる。 ・簡単な場合について確率を求められる。 ・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ・確率を用いて不確定な事象を捉え考察し、表現することができる。
箱ひげ図とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解することができる。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し、箱ひげ図で表すことができる。 ・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。

観点別学習状況の評価対象と内容		
知識・技能	(40%)	定期テスト・小テスト・レポート等
思考・判断・表現等	(30%)	定期テスト・小テスト・レポート等
主体的に学習に取り組む態度	(30%)	提出物・レポート・授業態度等

理科【2年 3 学期】

分野	単元	到達目標
エネルギー分野	電流の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連づけて、電流についての性質・理解を深める。 ・直列回路と並列回路について、実験を通して回路の各部分を通る電流・電圧の関係をみいだすことができる。 ・実験を通して、電圧と電流との間の規則性をみいださせ、オームの法則について理解する。 ・抵抗と回路全体の抵抗との関係を見いだすことができる。 ・電流には熱や光、音などを発生させたり物体を動かしたりする能力があり、これを電気エネルギーであることを理解する。 ・電力、電力量について理解する。
	電流の正体	<ul style="list-style-type: none"> ・物質どうしの摩擦で静電気が起こることを理解する。 ・帯電した物体間で、互いに力がはたらくことを理解する。 ・静電気は電流と関係があることを見いだすことができる。 ・放電は、電気が空間を移動したり、たまっていた電気が流れ出したりする現象であることを理解する。
	電流と磁界	<ul style="list-style-type: none"> ・磁石のまわりの磁界の様子について理解する。 ・電流はどのような磁界をつくるのか、実験を通して理解する。 ・電流が磁界から受ける力を調べることにより、電流と磁界の相互作用について理解を深める。 ・直流と交流について理解する。
	放射線の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線の種類や性質、生物への影響を理解する。

観点別学習状況の評価対象と内容		
①知識・技能	35%	定期テスト・小テスト・ワークシート・提出物
②思考・判断・表現	35%	定期テスト・提出物・ワークシート
③主体的に学習に取り組む態度	30%	定期テスト・レポート課題・ワークシート・授業への取り組み

英語【2年3学期】

単元	到達目標
Take Action! Listen5 Take Action! Talk5	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時のニュースを理解できるように、英文を聞いて概要を捉えることができる。 ・「申し出る」「困っていることを伝える」表現の意味や働きを理解し、相手に伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
GET Plus6	<ul style="list-style-type: none"> ・Could you…?の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。
Reading for Information4 オリビエサラダのレシピ	<ul style="list-style-type: none"> ・料理を作るために、材料や手順について書かれたレシピを読んで、必要な情報を捉えることができる。
Lesson7 Rakugo Goes Overseas	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉えることができる。 ・現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、正確に書いたりすることができる。 ・現在完了形(経験用法)の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉えることができる。 ・現在完了形(経験用法)の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。
Take Action! Listen6 Take Action! Talk6	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントの候補について話された英文を聞いて、要点を捉えることができる。 ・「意見を言う」「反対する」表現の意味や働きを理解し、それを含む英文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
Reading for Fun2 The Little Prince	<ul style="list-style-type: none"> ・物語のおおまかな流れなどを理解するために、星の王子さまの旅について書かれた物語を読んで、概要を捉えることができる。
観点別学習状況の評価対象と内容	
<p>知識及び技能(30%)…定期テスト、小テスト等</p> <p>思考力・判断力・表現力(30%)…定期テスト、ペアワーク活動、コミュニケーション活動等</p> <p>主体的に学習に取り組む態度(40%)…授業態度(ペアワーク活動・コミュニケーション活動を含む)、 暗唱テスト、提出物等</p>	

音楽【2年3学期】

分野	単元	到達目標
歌唱	旋律の動きを理解して合唱しよう	・歌詞の内容や語感、旋律の動き、強弱の変化に気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。
器楽	LESSON2〈左手・右手、サミング〉	・両手の運指やサミングに気を付けながら、吹き方を工夫して演奏することができる。
	LESSON3〈高い音、＃や♭の付く音〉	
創作	言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう	・課題に沿って、創意工夫して旋律を作ることができる。
鑑賞	世界のさまざまな声と楽器の音楽を味わおう	・声と楽器の音色、旋律、リズムの特徴などに気を付けながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

観点別学習状況の評価対象と内容	
知識・技能(35%)	小テスト・実技テスト
思考・判断・表現(35%)	実技テスト・ワークシート
主体的に取り組む態度(30%)	ワークシート・忘れ物・授業への取り組み

保健体育【2年3学期】

		単元	到達目標
保 健 体 育 男 子		・持久走	・心肺機能を高め、筋持久力や全身持久力を身につける。自分自身のめあてを見つけその記録に挑戦する楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
		・バスケットボール	・球技の特性に応じ、勝敗を競う楽しさや、喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにする。
		・ソフトボール	・その球技の特性に応じ、勝敗を競う楽しさや、喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにする。
		・保健	・健康な生活と病気の予防について理解する
	通知票の観点別学習 状況の評価対象と内 容		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知識・技能</div> 50% 技能テスト、定期テスト、ワーク、レポート <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">思考・判断・表現</div> 25% 授業の振り返り、技能テスト、定期テスト、授業の様子、レポート <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主体的に学習に取り組む態度</div> 25% 出席点、授業態度

		分野	単元	到達目標
保 健 体 育 女 子	体育		持久走	・心肺機能を高め、筋持久力や全身持久力を身につける。自分自身のめあてを見つけその記録に挑戦する楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
			ダンス	・身体をしっかり動かし、リズムに合わせて、一つ一つの動きを表現できるようにする。 ・クラスメイトと協力して1つの作品に仕上げる。
			器械運動 (跳び箱)	・できる技を更に高め、新しい技に挑戦し、技能を向上させる。
		保健	保健	・健康な生活と病気の予防について理解する。
		観点別学習状況の評価対象と内容		
			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知識・技能</div> 50% ……技能テスト、定期テスト、ワーク、レポート <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">思考・判断・表現</div> 25% ……授業の振り返り、技能テスト、定期テスト、授業の様子、レポート <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主体的に学習に取り組む態度</div> 25% ……出席点、授業態度	計100%

美術【2年3学期】

分野	単元	到達目標
表現	人が生きる社会と未来	<ul style="list-style-type: none"> ・社会問題に着目し、不要物で社会に訴える表現を試みる。 ・テーマを絞り素材を吟味し、構想を練り、鑑賞する。 ・社会問題に関心を持ち、未来社会を見つめる。
表現	動きを生かして印象的に	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達の意図を捉え、イメージをもとに表現できる。 ・伝えたい場面やイメージをもとに構図の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりできる。 ・動画作成に関心を持ち、意欲的に取り組む。
工芸	水と筆を操る	<ul style="list-style-type: none"> ・墨の特性を理解し、水加減による濃淡や筆の運びによる表現に着目し、その特性を生かして表す。 ・濃淡や線の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・墨の表現に関心を持ち、意欲的に取り組む。

観点別学習状況の評価対象と内容	
知識・技能 (30%) 思考・判断・表現 (40%) 主体的に学習に取り組む態度 (30%)	作品等 計画表・自己評価表・鑑賞シート等 Fシート・提出物等

技術家庭【2年3学期】

分野	単元	到達目標
(技術分野) 生物育成に関する技術	作物の栽培	作物を栽培する事で、問題点などを考える事ができる。
情報に関する技術	デジタル作品の製作	ソフトを使用して作品を製作する。またはソフトを利用できるようにする。
	プログラムによる計測・制御	計測制御の理解と簡単なプログラムをつくる。
エネルギー変換関する技術	エネルギーの利用	エネルギーの利用技術の必要性を知る
	エネルギー資源	自然界のエネルギー資源を知り、利用法を理解する
	2次エネルギーの利用	エネルギーをどのような形に変換利用してるか知る
	エネルギーの変換と効率	エネルギーを有効活用する方法を考える。
(家庭分野) 食生活と自立	地域の食材と食文化	・地方特有の郷土料理について知り、周りの人に説明することができる。 ・枚方の郷土料理を調理し、地域の食文化を理解する。
	調理をしよう	・調理の基本を知り、安全に実習することができる。
衣生活・住生活と自立	健康で安全な住まい	・防災を意識した工夫を考え、家庭で実践することができる。

<p>点別学習状況の評価対象と内容</p> <p>以下の①②③を均等の割合で評価します</p>	
①知識・技能	提出物・定期テスト・実習製作品
②思考・判断・表現	定期テスト・提出物・実習製作品
③主体的に学習に取り組む態度	提出物・授業態度